



お客様
からの
お便り

環境放射能・放射線の信頼される分析専門機関として

No.01
Letter

公益財団法人日本分析センター (ISO 9001:2015、ISO 14001:2015、ISO 27001:2022 認証登録)

業務執行理事 太田 智子



日本分析センター (千葉県千葉市)

公益財団法人日本分析センターは、環境放射能・放射線に関する分析専門機関として、1974年に設立されました。正確で信頼性のあるデータを提供すべく、技術力の向上に努めております。分析データの信頼性を確保するために、IAEA (International Atomic Energy Agency:国際原子力機関) が主催する放射能分析の国際的な技能試験に継続的に参加し分析技術の客観的な評価を受け、優れた成績を修めています。

また、放射能分析機関の国際的なネットワークとしてIAEAが設立したALMERA (Analytical Laboratories for

the Measurement of Environmental Radioactivity: 環境放射能測定分析機関) のメンバー機関です。

2000年6月にISO 9001、2009年3月にISO/IEC 27001、2010年1月にISO 14001の認証を取得しました。ISO 9001、ISO 14001、ISO/IEC 27001に基づき、品質管理を徹底し、環境保全にも積極的に取り組み、情報セキュリティ対策を強化した安全で安心な分析サービスを提供してまいります。



トリチウム分析: 電解濃縮装置



ゲルマニウム半導体検出器

<https://www.jcac.or.jp/>

岐阜県魚「あゆ」加工品を日本初のオーストラリア輸出

No.02
Letter

株式会社鵜舞屋 (FSSC 22000 v6 認証登録)

代表取締役 高森 幹啓



本社工場外観 (岐阜県岐阜市)



工場内部

その中で、工場認可が重要な要素の一つであることを実感し、2022年に新工場を操業し、同年FSSC 22000を認証

当社は、明治10年岐阜市で創業し、鮎加工品や飛騨牛など、地域の特産品の製造販売を行っております。

長良川鵜飼いの観光土産・御中元・御歳暮の出荷が主ですが、海外販路を視野に入れ2015年より、本格的に取り組みをスタートしました。

取得しています。認証取得後、要求事項が増える度に仕組みの再考をする必要があり、管理基準の見直しの機会となっており、国内のお取引先様からも高い評価をいただいております。

当社工場は、ベトナム水産食品施設認定、オーストラリア向け輸出水産食品認定施設などを取得し、輸出の拡大に繋げております。特にオーストラリアへは、日本で初めてあゆ加工品を輸出出来る工場となりました。

岐阜の県魚「あゆ」を皆様に楽しんでいただく事、日本の素晴らしい食品を輸出出来る工場を目指し、更なる発展をさせます。



オーストラリアへ輸出する鮎製品

<https://www.umaiya.co.jp/>